

## 2018年度 事業報告書より（抜粋）

### 【肉筆資料等所蔵検索開始・協力企画展開催】

新たに、館所蔵の肉筆資料をはじめとする特別資料の所蔵状況について、ホームページから検索が可能になった。利用登録者数は2019年3月31日現在256名に上る。

また、学会等外部団体に資料調査・研究のみならず、その成果の発表の場として館を活用してもらう試みとして、以下の展示の開催に協力した。

「**浅草文芸、戻る場所**」展 9月1日～10月6日（25日間、830人）

主催：浅草文芸ハンドブックの会 協力：「月刊浅草」編集部・日本近代文学館

川端康成記念室では「モダニズムと浅草」を同時開催。

「**新世紀の横光利一**」展 2019年3月2日～3月30日（20日間、1,164人）

主催：横光利一展実行委員会 協力：横光利一文学会・日本近代文学館

### 【資料収集】

所蔵資料総点数 1,189,169点

	特別資料	図書	雑誌	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	1,629点	2,079冊	7,011冊	2枚	10点	1件
累計	93,270点	489,375冊	600,874冊	5,425枚	225点	66件10,683点

### 【閲覧等サービス】 [ ]内は前年数

閲覧 閲覧日数 232日[234日] 閲覧者数 1,610人[1,495人]

資料複写サービス 1,358件31,212枚（うち学割は221件5,327枚）

[1,368件31,288枚（うち学割は232件5,630枚）]

資料写真サービス 420件1,376枚[422件2,435枚]

レファレンスサービス 580件[602件]

成田分館 開館日数24日[24日]、展示来観者10人[4人]、閲覧者1人[0人]

HP 特別資料検索サービス 利用登録者256人

### 【展覧会】

#### ①春季展示「生誕一三五年志賀直哉—「ナイルの水の一滴」展

3月31日～6月9日（49日間、2,050人） 編集委員：池内輝雄、小林幸夫、中島国彦、宗像和重

3月30日、内覧会を開催。図録（B5判55ページ）製作。

5月3日、トークイベント「詩人 高橋睦郎に聞く、志賀直哉文学の魅力」（来聴者40名）

川端康成記念室＝「川端文学の名作Ⅱ」

#### ②夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱ 中島敦『山月記』とその時代」

6月23日～8月25日（43日間、2,380名、うち中高生615名）編集委員：安藤宏、山下真史

中学や高校の先生方を対象とした関連セミナー『「教室」と『文学』をつなぐ』開催 7月14日（講師：

紅野謙介・中島国彦、来聴者31名）・8月11日（講師：山下真史、来聴者51名）

#### ③秋季展示「没後10年小川国夫展—はじめに言葉／光ありき—」展

10月13日～12月1日（34日間、1,164人） 編集委員：紅野謙介、勝呂奏

10月12日、内覧会を開催。図録（B5判 32ページ）製作。

展示室Ⅱ＝「矢来町のたからもの—佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き—」編集委員：中島国彦

#### ④冬季企画展「こんな写真があるなんて！—いま見つめ直す文学の新風景」展

12月8日～2019年2月23日（43日間、1,713人） 編集委員：武藤康史

1月26日、トークイベント開催（講師：林義勝氏、来聴者8名）

#### ⑤全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」 『震災を書く』

3月2日～3月30日「新世紀の横光利一」展と同時開催。

### 【講座・講演会】

○文学館へ行こう！（文学館を知りたい方へ — 利用案内講座） （参加者 計67名）

4月21日、5月4日、11月23日 講師：中島国彦 1月26日 講師：紅野謙介

○資料は語る 2018年度＜東京近郷の文学＞ （受講者 計213名）

- 4月21日 小林幸夫：我孫子時代の志賀直哉と『和解』
- 5月19日 片山倫太郎：川端康成と鎌倉—『山の音』原稿
- 6月9日 戸松泉：樋口一葉と甲州—『ゆく雲』未定稿とともに
- 9月15日 安藤宏：太宰治と伊豆—『斜陽』を中心に
- 10月20日 小平麻衣子：吉屋信子『安宅家の人々』—ピュアの奔流
- 11月17日 長島裕子：漱石の修善寺—「病に生き還ると共に、心に生き還った」地

○声のライブラリー 自作朗読と座談会 （参加者 計232名）

第93回 5月12日 朗読：谷川俊太郎、高橋悠治 司会：伊藤比呂美

第94回 9月8日 朗読：松本徹、佐川光晴 司会：佐藤洋二郎

第95回 11月10日 朗読：青来有一、暁方ミセイ 司会：小池昌代

第96回 2月9日 朗読：石内都、藤原辰史 司会：伊藤比呂美

○第55回 夏の文学教室 「近代と現代の間—昭和の文学から」 （聴講者 計3,945人）

（読売新聞社後援、7月30日～8月4日、有楽町・よみうりホール）

講師：荒川洋治、中島京子、佐伯一麦、島田雅彦、浅田次郎、伊藤比呂美、中上紀、木内昇、川本三郎、宮沢章夫、堀江敏幸、高橋源一郎、林望、磯崎憲一郎、町田康、青来有一、安藤礼二、池澤夏樹

○文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理（8月21日～25日） 参加者：22大学ほか40名

講師：安藤宏、池内輝雄、石川巧、紅野謙介、坂上弘、東郷克美、中島国彦、日高昭二、宮内淳子、宗像和重、和田博文、事務局職員

○文学館職員研修講座（1月23日～25日） 参加：6館8名

### 【刊行物】

『小説は書き直される—創作のバックヤード』2018年12月20日刊行 館編、秀明大学出版会発行

紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第14号 2019年3月7日刊行